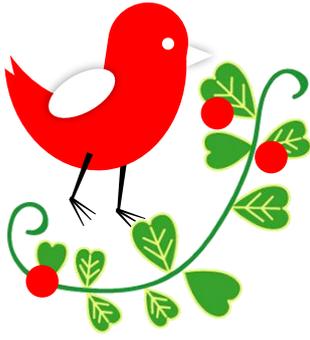


赤い鳥小鳥



赤い鳥 小鳥

なぜなぜ 赤い

赤い実を 食べた

白い鳥 小鳥

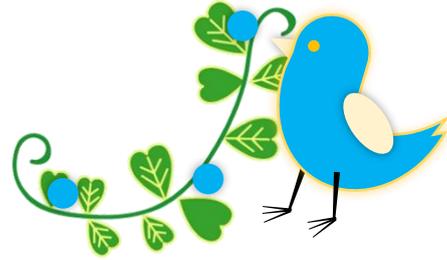
なぜなぜ 白い

白い実を 食べた

青い鳥 小鳥

なぜなぜ 青い

青い実を 食べた



赤い帽子白い帽子

赤い帽子 白い帽子 仲よしさん

いつも通るよ 女の子

ランドセルしょって お手々をふって

いつも通るよ 仲よしさん

赤い帽子 白い帽子 仲よしさん

いつも駆けてく 草の道

おべんとうさげて お手々をくんで

いつも駆けてく 仲よしさん

赤い帽子 白い帽子 仲よしさん

いつも楽しい 笑い声

おひより小道 かげぼうしふんで

赤い帽子 白い帽子 仲よしさん

いつも可愛い 歌い声

黒い靴はいて 赤い靴はいて



赤とんぼ

夕やけ小やけの 赤とんぼ
負われて見たのは
いつの日か

山の畑の 桑の実を
小籠に摘んだは
まぼろしか

十五で姐やは 嫁に行き
お里のたよりも
絶えはてた

夕やけ小やけの 赤とんぼ
とまっているよ
竿の先



朝はどこから

朝はどこから 来るかしら
あの空越えて 雲越えて
光の国から 来るかしら
いえいえ そうではありませぬ
それは 希望の家庭から
朝が来る来る 朝が来る
「おはよう」「おはよう」

昼はどこから 来るかしら
あの山越えて 野を越えて
ねんねの里から 来るかしら
いえいえ そうではありませぬ
それは 働く家庭から
昼が来る来る 昼が来る
「今日は」「今日は」

夜はどこから 来るかしら
あの星越えて 月越えて
お伽の国から 来るかしら
いえいえ そうではありませぬ
それは 楽しい家庭から
夜が来る来る 夜が来る
「今晚は」「今晚は」

あした

お母さま

泣かずにねんね いたしましう

赤いお船で 父さまの

かえるあしたを たのしみに

お母さま

泣かずにねんね いたしましう

あしたの朝は 浜に出て

かえるお船を 待ちましう

お母さま

泣かずにねんね いたしましう

赤いお船の おみやげは

あの父さまの わらい顔



あの子はたあれ

あの子はたあれたれでしよね

なんなんなつめの 花の下

お人形さんと遊んでる

かわいい美代ちゃんじゃ ないでしよか

あの子はたあれ たれでしよね

こんこん小やぶの 細道を

竹馬ごっこで 遊んでる

隣の健ちゃんじゃ ないでしよか

あの子はたあれ たれでしよね

とんとん峠の 坂道を

ひとりでてててく 歩いてる

お寺の小僧さんじゃ ないでしよか

あの子はたあれ たれでしよね

お窓にうつった 影法師

おそとはいつか 日がくれて

お空にお月さんの 笑い顔



あの町この町

あの町この町

日が暮れる 日が暮れる

今きたこの道

かえりやんせ かえりやんせ

お家が だんだん

遠くなる 遠くなる

今きたこの道

かえりやんせ かえりやんせ

お空に ゆうべの

星が出る 星が出る

今きたこの道

かえりやんせ かえりやんせ



雨

雨が降ります 雨がふる

遊びにゆきたし 傘はなし

紅緒の木履も 緒が切れた

雨がふります 雨がふる

いやでもお家で 遊びましょう

千代紙折りましょう たたみましょう

雨がふります 雨がふる

けんけん小雉子こきじが 今啼いた

小雉子も寒かる 寂しかろ

雨がふります 雨がふる

お人形寝かせと まだ止まぬ

お線香花火も みな焚いた

雨がふります 雨がふる

昼もふるふる 夜もふる

雨がふります 雨がふる



雨降りお月

雨降りお月さん 雲の影

お嫁にゆくときや 誰と行く

一人で傘からかさ さしてゆく

傘からかさ ないときや 誰とゆく

シヤラシヤラ シャンシャン 鈴つけた

お馬にゆられて ぬれてゆく

いそがにやお馬よ 夜が明けよう

手綱の下からチョイと見たりや

お袖でお顔を かくしてる

お袖はぬれても 干しゃ乾く

雨降りお月さん 雲の陰

お馬にゆられて ぬれてゆく

あんたがたどこさ

あんたがたどこさ

ひごさ

ひごどこさ

くまもとき

くまもどこさ

せんばさ

せんばやまには

たぬきがおってさ

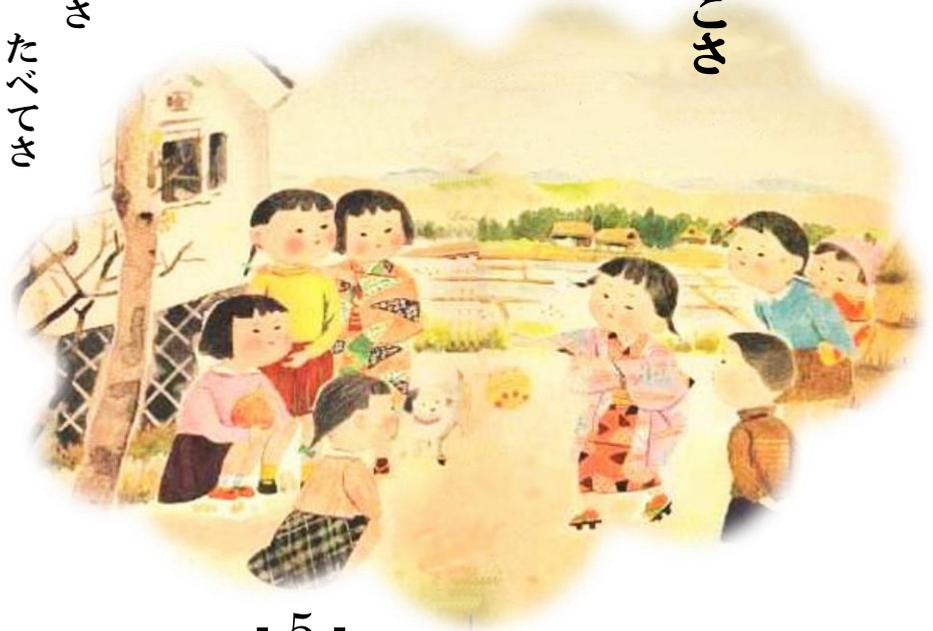
それをりようしが

てっぽうでうってさ

にてさ やいてさ たべてさ

それをこのはで

ちよつとかぶせ



歌の町

よい子が住んでる よい町は
楽しい 楽しい 歌の町
花屋はちよきちよき ちよつきんな
かじ屋はかちかち かつちんな

よい子が集まる よいところ
楽しい 楽しい 歌の町
雀はちゅんちゅん ちゅんちゅくちゅん
緋鯉はぼくぼく ぱつくりこ

よい子が元気に 遊んでる
楽しい 楽しい 歌の町
荷馬車はかたかた かつたりこ
自転車ちりりん ちりりんりん
よい子のおうちが 並んでる
楽しい 楽しい 歌の町
電気はぴかぴか ぴっかりこ
時計はちくたく ぼんぼんぼん

うれしいひな祭り

あかりをつけましょ ぼんぼりに
お花をあげましょ 桃の花
五人ばやしの 笛太鼓
今日はたのしい ひな祭り

お内裏様と おひな様
二人ならんで すまし顔
お嫁にいらした 姉様に
よく似た官女の 白い顔

金のびょうぶに うつる灯を
かすかにゆする 春の風
すこし白酒 めされたか
あかいお顔の 右大臣

着物をきかえて 帯しめて
今日はわたしも はれ姿
春のやよいの このよき日
なによりうれしい ひな祭り

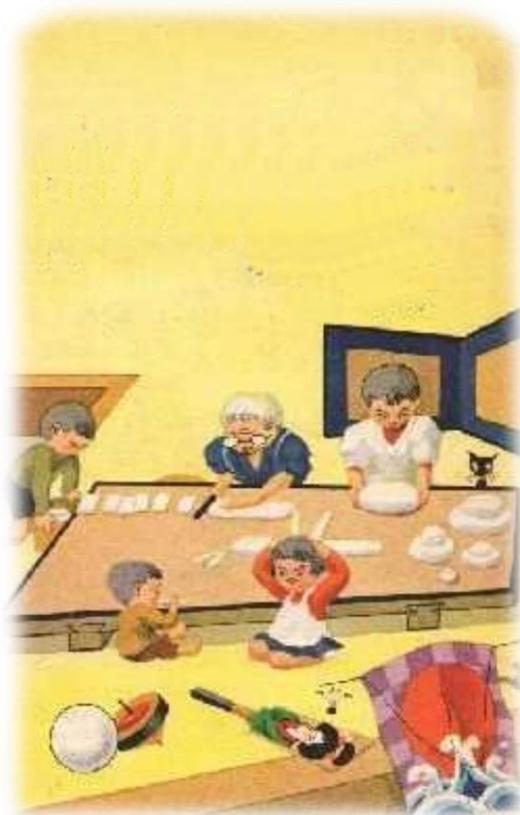


大きな栗の木の下

大きな栗の木の下で
あなたとわたし
たのしく遊びましょう
大きな栗の木の下で

大きな栗の木の下で
お話ししましょう
みんなでわになって
大きな栗の木の下

大きな栗の木の下で
おおきな夢を
大きくそだてましょう
大きな栗の木の下で



お正月

もういくつねると お正月

お正月には 凧あげて

こまをまわして 遊びましょう

はやく来い来い お正月

もういくつねると お正月

お正月には まりついて

おいぼねついて 遊びましょう

はやく来い来い お正月

おもちゃのマーチ

やっどこ やっどこ くりだした

おもちゃのマーチが らったった

人形のへいたい せいぞろい

おうまもわんわも らったった

やっどこやっどこ ひとまわり

きゅーぴもぽっぽ らったった

フランス人形も とびだして

ふえふきや たいこが ぱんぱらぱん



お山の大将

お山の大将 俺ひとり

あとから来るもの つき落せ

ころげて 落ちて またのぼる

あかい夕日の 丘の上

子供四人が 青草に

遊びつかれて 散りゆけば

お山の大将 月ひとつ

あとから来るもの 夜ばかり



かなりや

唄を忘れた 金糸雀は

後ろの山に 棄てましょか

いえ いえ それはなりませぬ

唄を忘れた 金糸雀は

背戸の小藪に 埋けましょか

いえ いえ それはなりませぬ

唄を忘れた 金糸雀は

柳の鞭で ぶちましょか

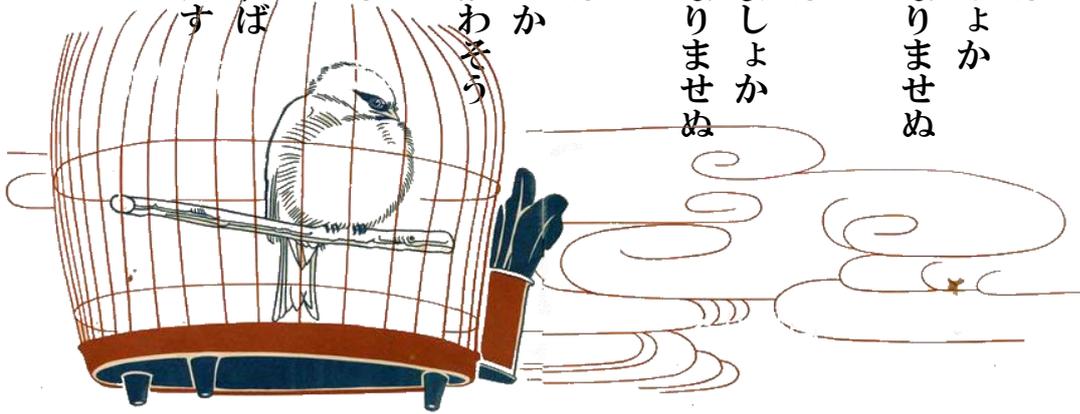
いえ いえ それはかわそう

唄を忘れた 金糸雀は

象牙の船に 銀の櫂

月夜の海に 浮かべれば

忘れた唄を おもいだす



靴が鳴る

お手つないで 野道を行けば

みんな可愛い 小鳥になって

歌をうたえば 靴が鳴る

晴れたみ空に 靴が鳴る

花をつんでは お頭にさせば

みんな可愛い うさぎになって

はねて踊れば 靴が鳴る

晴れたみ空に 靴が鳴る



黄金虫

黄金虫は 金持ちだ

金蔵建てた 蔵建てた

飴屋で水飴 買って来た

黄金虫は 金持ちだ

金蔵建てた 蔵建てた

子供に水飴 なめさせた



この道

この道はいつか来た道

ああ そうだよ

あかしやの花が咲いてる

あの丘はいつか見た丘

ああ そうだよ

ほら 白い時計台だよ

この道はいつか来た道

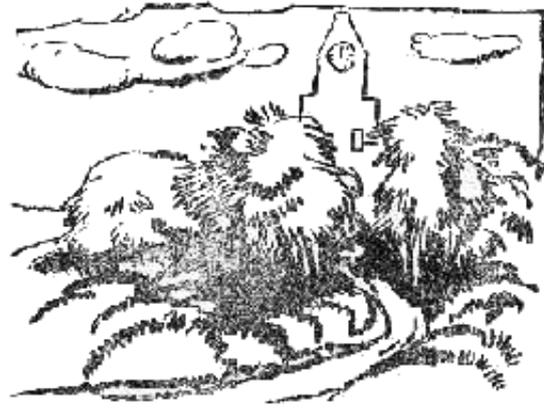
ああ そうだよ

お母さまと馬車で行ったよ

あの雲はいつか見た雲

ああ そうだよ

山査子の枝も垂れてる



里の秋

静かな静かな 里の秋
お背戸に木の実の 落ちる夜は
ああ 母さんとただ二人
栗の実 煮てます いろいろばた

明るい明るい 星の空
鳴き鳴き夜鴨の 渡る夜は
ああ 父さんのあの笑顔
栗の実 食べては 思い出す

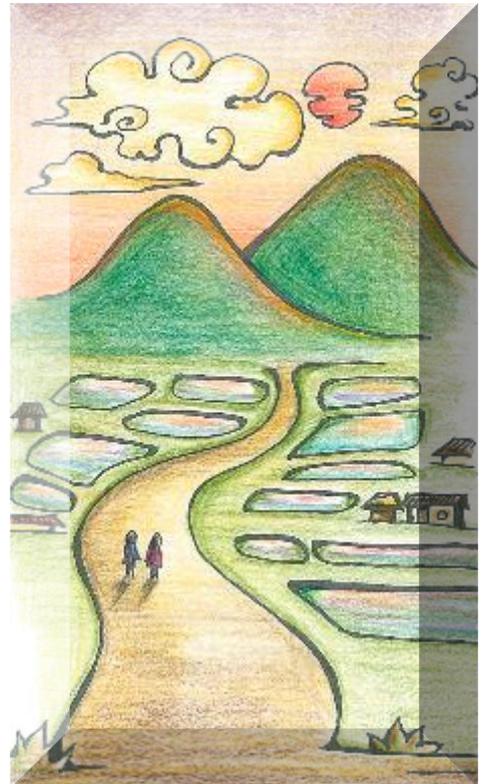
さよならさよなら 椰子の島
お船にゆられて 帰られる
ああ 父さんよご無事でと
今夜も 母さんと 祈ります



叱られて

叱られて 叱られて
あの子は町まで お使いに
この子は坊やを ねんねしな
夕べさみしい 村はずれ
こんときつねが なきやせぬか

叱られて 叱られて
口には出さねど 眼になみだ
二人のお里は あの山を
越えてあなたの 花のむら
ほんに花見は いつのこと



十五夜お月さん

十五夜お月さん
ご機嫌さん
婆やは お暇
とりました

十五夜お月さん 妹は
田舎へ 貰られて
ゆきました

十五夜お月さん
かかさんに
も一度 わたしは
逢いたいな



砂山

海は荒海 向こうは佐渡よ
すずめなけなけ もう日は暮れた
みんな呼べ呼べ お星さま出たぞ

暮れりや砂山 汐鳴りばかり
すずめちりぢり また風荒れる
みんなちりぢり もう誰も見えぬ

かえろかえろよ 菜萁原わけて
すずめさよなら さよならあした
海よさよなら さよならあした



背比べ

柱のきずは おとしの
五月五日の 背比べ
ちまきたべたべ 兄さんが
計ってくれた 背のたけ
きのうくらべりや 何のこと
やっど羽織の 紐のたけ
柱にもたれりや すぐ見える
遠いお山も 背くらべ
雲の上まで 顔出して
てんでに背伸 していても
雪の帽子を ぬいでさえ
一はやっぱり 富士の山

